

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38 48	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	入居者の生き生きとした表情や姿が見られ、身体機能の維持ができる	①入居者一人ひとりの趣味や嗜好を再度本人や家族に聞きだす。	1ヶ月
				②家政行為以外の一人ひとりにあった支援を提供する。	6ヶ月
				③家政行為の維持と、支援が出来ていなければ出来るように支援する。	6ヶ月
2	13	○職員を育てる取り組み	認知症ケアや身体介護に必要な知識や技術の取得により、よりよい支援の実践が出来る。	①認知症ケアの支援に必要な知識技術の研修を実施 ②身体介護に必要な知識や技術の研修を実施。 ③知識や技術の取得により実践。 ④相談随時を行う。	12ヶ月
3	55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり	入居者の生活の際に、事前に危険と思われる部分を察知でき、環境の設定ができ、見守りが出来る。	①入居屋の生活支援を行う上での、危険な場所や危険な状況を見つけることができる。 ②常に危険と思われる部分の改善が出来、入居や9名が何をしているか確認や察知することを習慣化する。	3ヶ月 12ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。